

教祖120年祭記念展

はじめに

天理図書館は、昭和5年（1930）の開館以来、七十余年の星霜を重ねてまいりました。その間に、幸いにも数多の優品を収蔵することとなりましたが、これらを中心とした稀観書のコレクションは、わが国有数のものとの評価をいただいております。これもひとえに、創設とその後の発展にご尽力くだされた二代真柱様をはじめ、多くの先人や信者の方々のご理解とご支援の賜物と、感謝いたしております。

教祖百二十年祭の旬を迎えて、天理図書館ではこのコレクションの中から、本館を代表する、あるいは特色ある分野から善本を精選し、本年一年間を通じて、毎月帰参される方々のご覧に供したく存じます。

ここに特別展示いたします書物は、各々国宝や重要文化財の指定を受けた重宝であり、墨痕彩色鮮やかな美術品であり、また歴史性・稀少性をもって殊に保存に意が注がれる優品であります。天理図書館蔵書中の白眉と申せましょう。

この機会に、優品のもつ重厚さや気高さを、身近に感じ取っていただければ幸甚であります。

平成18年1月

天理図書館

*** 出展目録 ***

特別展示・8月

奈良絵本

- 1 いはやものがたり 室町末期写
- 2 しづか 室町末期写
- 3 花鳥風月物語 室町末期写
- 4 熊野の本地 室町末期写
- 5 小男の草子絵巻 室町末期写
- 6 鼠の草子絵巻 江戸初期写
- 7 執金剛神縁起絵巻 江戸初期 伝土佐光起筆
- 8 山海異形 江戸初期写
- 9 大織冠 江戸初期写
- 10 源氏物語 江戸初期写

※※ 9月の特別展示は「キリストン版と勅版」 落葉集・おらしよの翻訳（共に重要文化財）などです ※※

一般展示・7月-12月

近世名家の自筆本

- 1 童子問 (重要美術品)
伊藤仁斎 (1627-1705)
- 2 参考太平記抜書
新井白石 (1657-1725)
- 3 明律国字解
荻生徂徠 (1666-1728)
- 4 たはれ草
雨森芳洲 (1668-1755)
- 5 制度通
伊藤東涯 (1670-1736)
- 6 韓非子翼龜
太田全斎 (1759-1829)
- 7 日本外史
頼山陽 (1780-1832)
- 8 源註拾遺
契沖 (1640-1701)
- 9 万葉考 (重要美術品)
賀茂真淵 (1697-1769)
- 10 古事記伝 (重要美術品)
本居宣長 (1730-1801)
- 11 贈稻掛大平書 (重要美術品)
村田春海 (1746-1811)
- 12 恩頼図
本居大平 (1756-1833)
- 13 赤県太古伝
平田篤胤 (1776-1843)
- 14 稜威道別
橋守部 (1781-1849)
- 15 春雨物語
上田秋成 (1734-1809)
- 16 壬申掌記
大田南畝 (1749-1823)
- 17 人間万事吹矢的
山東京伝 (1761-1816)
- 18 吾仏の記
滝沢馬琴 (1767-1848)
- 19 春色籬迺梅
為永春水 (1790-1843)
- 20 俳諧絵巻
野々口立圃 (1595-1669)
- 21 百五拾番俳諧発句合
北村季吟 (1624-1705)
- 22 脊骨三百韻
井原西鶴 (1642-93)
- 23 「ほろほろと」発句画贊
松尾芭蕉 (1644-94)
- 24 蕪村書簡
与謝蕪村 (1716-83)
---*---*---
- 25 無言道人筆記
司馬江漢 (1747-1818)
- 26 乳巖治驗録
華岡青洲 (1760-1835)
- 27 ウエインマン図説
宇田川棟斎 (1769-1834)
---*---*---
- 28 新陰流兵法目録
柳生宗嚴 (1529-1606)
- 29 策伝和尚送答控
策伝 (1554-1642)
- 30 菊花堂之記
近松門左衛門 (1653-1724)
- 31 人となる道
慈雲 (1718-1804)
- 32 盲文画話
水野盧朝 (1748-1836)
- 33 宇下人言
松平定信 (1758-1829)
- 34 東都歳時記
斎藤月岑 (1804-78)
- 35 夢かぞへ
野村望東尼 (1806-67)
- 36 井伊直弼書簡
井伊直弼 (1815-60)
- 37 近世蝦夷人物誌
松浦武四郎 (1818-88)

◎ 天理大学附属天理図書館 ◎

JR・近鉄天理駅より徒歩約30分
東名阪自動車道路天理東ICより南へ5分
午前9時→午後3時30分
会期中無休・入場無料
Tel: 0743-63-9200